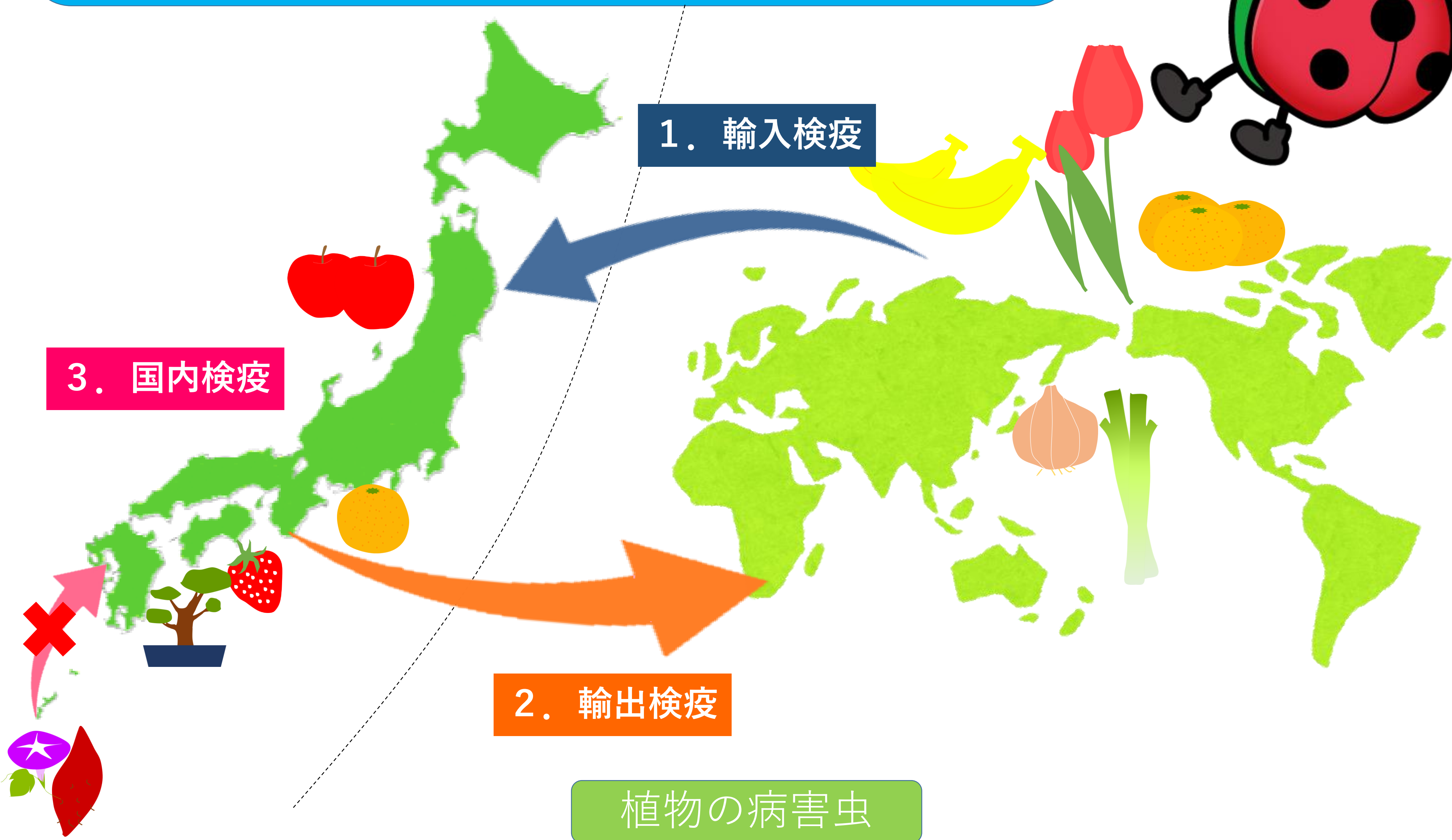
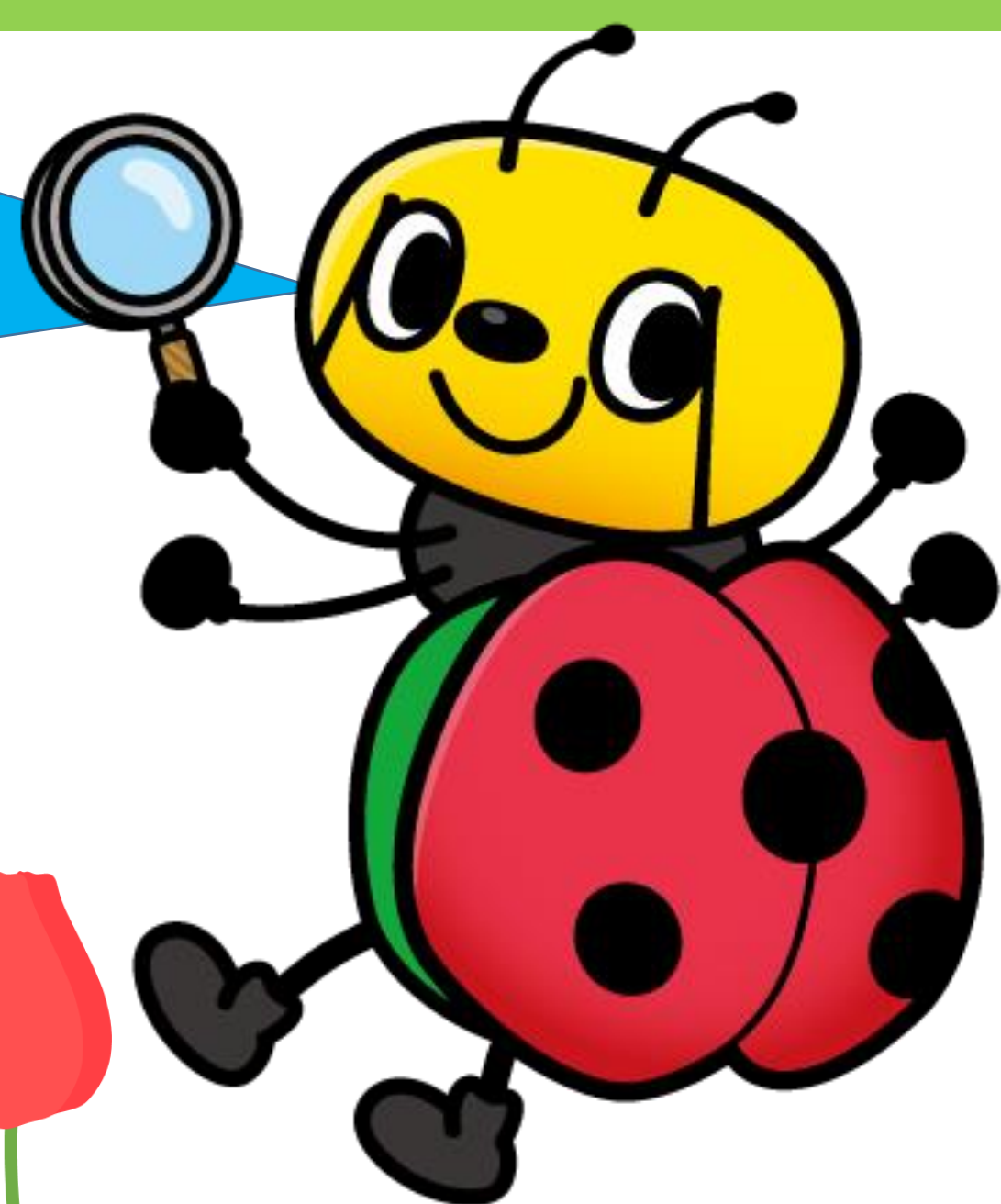


植物検疫とは

植物防疫所は、植物に有害な病害虫の侵入・まん延を防ぐため空港や港で輸出入される植物の苗、果物、野菜などに病害虫が付着していないか検査する、「検疫」を行っています。



サツマイモの大害虫
アリモドキゾウムシ



果実につく大害虫
ミカンコミバエ



カンキツグリーニング病
に感染したミカン（左）

🔍 植物検疫のはじまり

1845年、アイルランドでジャガイモ疫病が流行し、主食のジャガイモが皆無となり**100万人以上が餓死、150万人が北米へ移住**、アイルランド島の人口が最盛期の半分になったといわれています。

また、1850年代、米国からフランスにブドウネアブラムシが侵入、ブドウが大打撃を受け**ワイン生産量が70%減少**、ドイツが**ブドウ苗の輸入を禁止**しました。これが植物検疫のはじまりといわれています。